

# 日本家族社会学会ニュースレター

Japan Society of Family Sociology Newsletter

No. 52

2014年5月23日発行

編集 中里英樹（庶務委員・広報担当）  
発行 日本家族社会学会事務局  
〒102-8554 東京都千代田区紀尾井町7-1  
上智大学総合人間科学部 田淵六郎研究室  
TEL : 03-3238-3783

## 会長挨拶

善積京子（日本家族社会学会会長／追手門学院大学）

ご承知のようにISAの世界社会学会議横浜大会が2014年7月13日～19日の期間に開催されます。すでに日本家族社会学会会員の多くの方が報告や参加の申込みを済まされていることと思います。この機会を利用して、家族研究者間の国際的な交流を促進するために、この大会の第2日目（14日）19時30分から、ISAの家族研究委員会（Research Committee on Family Research, CFR=RC06）と日本家族社会学会会員との懇親会（レセプション）を企画しています。事前申込みが必要ですが、これにも積極的に参加してくださることを期待しています。

今年度からの新しい試みの1つは、学会年会費のクレジットカードによる支払いが可能になったことです。その期間は毎年4月～6月の3カ月間ですので、利用希望の方は忘れずにその期間に決済をお願いいたします。新しい試みの2つ目は、学会大会において報告者公募型テーマセッションの募集を開始したことです。このテーマセッション企画案への応募が1件あり、採択されてすでに大会サイトにアップされています。このテーマセッションへの報告申込みの締め切りは5月30日ですので、奮ってご応募ください。

前理事会から引き継いだ課題は「国際化への対応」で、第8期理事会ではその課題の取り組みの一環として、現在、英語論文の投稿受理に向けて、規定改正や査読システム整備などの体制準備を進めています。今年の学会大会時に、会員みなさまに報告できればと思っています。東京女子大学で9月6・7日に開催される学会大会に多くの方の参加を願っております。

===== 目 次 =====			
会長挨拶	1	事務局だより	7
日本家族社会学会第24回大会のご案内	2	会員異動（略）	7
理事会報告（略）	3	編集後記	7
各種委員会報告	3		

## 日本家族社会学会第24回大会のご案内

染谷 俣子（第24回大会実行委員長／東京女子大学）

この度、2014年度の第24回日本家族社会学会大会の開催を、東京女子大学でお引き受けすることになりました。実行委員は染谷をはじめとし、本学の岡村清子、金野美奈子、そして魚住明代（城西国際大学）、堀聡子（東京女子大学特任研究員）の5人が担当いたします。その他に学生アルバイトの協力を得て、大会を実施したく思っております。

東京女子大学は杉並区の片隅にあり、道路を隔てて武蔵野市という位置にあります。23区内としては静かな環境にあり、2018年に創立100周年を迎えます。大学はJ R西荻窪と吉祥寺の間に位置し、最寄りの西荻窪駅は東京駅から中央線快速で28分、新宿からは13分の距離にあります。

なお、懇親会につきましては、キャンパス内での飲酒が禁止のため、隣接の同窓会館にて開催いたします。地酒・地ビールはございませんが、多少のアルコールと楽しいデザートをご用意いたします。真夏でも緑濃く、しのぎやすい静かなキャンパスです。今回は学術会議主催のシンポジウムも同時に開催されますので、会員、非会員の多くの方々のご参加を、実行委員一同お待ちしております。



1. 会期：2014年9月6日（土）～7日（日）
2. 会場： 東京女子大学 〒167-8585 東京都杉並区善福寺2-6-1  
J R中央線西荻窪駅 徒歩12分 バス5分弱

\*交通路の詳細および大学周辺地図は、大会ホームページおよび大会ニュースNo.2でお知らせいたします。

### 3. 参加費等：

大会参加費、懇親会費、お弁当に関しては、以下の通りに予定しております。

	大会参加費			懇親会費			弁当(予約制)	
	事前納付		当日払い	事前納付		当日払い	事前納付のみ	
	郵便振替	カード		郵便振替	カード		郵便振替	カード
一般	3,500 円	3,675 円	4,500 円	4,000 円	4,200 円	5,000 円	1,000 円	1,050 円
学生	2,500 円	2,625 円	3,000 円	2,500 円	2,625 円	3,000 円	1,000 円	1,050 円

\*なお、大学周辺には正門脇にコンビニが1軒ありますが、学食・売店は夏季休暇中のため閉鎖しております。昼食は、お弁当の予約、またはお持込でご用意ください。

#### 4. 宿泊：

宿泊情報の提供につきましては、各自でご手配ください。

#### 5. 託児サービス：

例年通り、大会中、「保育サービスつくしんぼ」からの出張託児サービスを学内に準備いたします。利用料は、1人1日2000円、半日1000円の予定です。

詳細につきましては、大会ウェブサイト、および大会ニュースレターNo.2にてお知らせいたします。

#### 6 大会に関するお問い合わせは：

〒167-8585 東京都杉並区善福寺2-6-1 東京女子大学現代教養学部国際社会学科社会学専攻  
染谷倭子研究室

日本家族社会学会第24回大会実行委員会 e-mail:

ただし、ウェブでの大会申込み、参加登録、事前納付などについてのお問い合わせは、以下の日本社会学会ヘルプデスクにお願いいたします。

## 理事会報告

### 2013年度第2回理事会（第8期第3回会合）議事録（抄）（略）

## 各種委員会報告

### 編集委員会

編集委員会では、年2回刊行の『家族社会学研究』の編集を東と西の編集委員会の二元体制で行っています。これまでのところ、昨年9月から東側の編集委員会が編集作業を担当した第26巻第1号が完成し、このニュースレターとともにみなさまのお手元にお届けすることができました。引き続き、現在は、10月末刊行予定の第26巻第2号の編集作業を西側の編集委員会が行っています。第26巻第1号には、巻頭エッセイ、特集（昨年の学会大会シンポジウムの趣旨、報告、コメント）、書評・文献紹介が掲載されていますが、投稿論文で審査を経て掲載に至ったものは残念ながらありませんでした。投稿論文数が8本とやや少なかったこともありますので、積極的な投稿をお願いします。

今期第8期の編集委員会としては、これまでの各期の編集委員会がその経験を蓄積して整備してきた編集システムを継承するとともに、今期理事会全体の方針でもある「国際化」への対応に取り組んでいきたいと考えています。具体的には、長年の懸案であった英文投稿論文の受付を実現することが最大の検討課題です。この件については、編集委員会で検討した結果を理事会ともご相談して、9月の学会大会時には会員のみなさまに具体的な方針とスケジュールを提示できるようにしたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

（池岡義孝・早稲田大学）

## 研究活動委員会

### 1. 第24回日本家族社会学会大会（2014年9月6日・7日）について

研究活動委員会は、東京女子大学で開催される大会に向けて準備を進めています。3月7日には、第24回大会オフィシャルサイトを開設しました

(<http://www.wdc-jp.com/jsfs/conf/2014/index.html>)。このサイトへは学会ウェブサイトの「学会大会／研究活動」から入ることができます。また、4月初旬には会員の皆様に第24回日本家族社会学会大会ニュースNo.1をお届けしました。

今年度から開始した「報告者公募型テーマセッション」の企画申請は3月末に締め切り、企画全体提案型テーマセッション・国際セッション・ラウンドテーブル・書評ラウンジなどの企画申請は4月末に締め切りました。自由報告と「報告者公募型テーマセッション」での報告の申し込みの締め切りは5月末です。いずれも要旨原稿は5月末が締め切りです。報告申し込みは上記の大会オフィシャルサイト上で行ってください。その際にはマイページと同じID（会員番号）とパスワードが必要ですのでご注意ください。多くの皆様からの申し込みをお待ちしています。

大会シンポジウムのテーマは「少子高齢化と日本型福祉レジーム」で、日本学術会議社会学委員会少子高齢社会分科会との共催で行います。報告者は宮本太郎氏（中央大学）、大沢真理氏（東京大学）、服部良子氏（大阪市立大学）、下夷美幸氏（東北大学）、コメンテーターは落合恵美子氏（京都大学）です。活発な討論が展開することを期待していますので、ふるってご参加ください。

国際セッションについては、国際交流基金日米センターの助成事業（本学会との共催事業）でもあるステップファミリーに関するセッション（事業担当責任者は野沢慎司研究活動委員会担当理事）を含め、複数のセッションの企画が寄せられています。大会では、別刷交換コーナー、書籍販売コーナー、大会報告レジュメコーナーを設けます。

大会参加申込は7月1日からウェブ上で行うことができます。大学構内に入校する際に、用務が確認されるため、会員の方は事前に送付するプログラムを必ずご持参のうえ、正門でご提示ください。

### 2. 大会要旨集

昨年度の大会と同様に印刷物と電子媒体（大会オフィシャルサイトで公開）の要旨集を併用します。よって、要旨を作成する際にはこの点についてご注意ください。大会前に要旨集を読みたいという会員の要請に応じて、電子媒体（PDF）の要旨集は大会直前の9月3日（水）に公開する予定です。

### 3. 2014年世界社会学会議・横浜大会でのRC06との懇親会（レセプション）について

「会長の挨拶」でご紹介いただきましたように、ISA横浜大会の2日目の14日（月）19：30から、大会に参加する日本家族社会学会会員とISAのResearch Committee on Family Research（RC06）会員の懇親会を企画しています。本学会とRC06の共催で、RC06のビジネスミーティングの時間（19：30-20：50）に飲み物とささやかな軽食をとりながら、懇親を図るものです。大会会場であるパシフィコ横浜で行うため、大会参加者の方に限定されますが、研究情報の交換や交流の機会として多くの方のご参加をお待ちしています。費用は本学会を中心にRC06も負担するのですが、事前に参加人数を把握するために、ISAのプログラムの確定後の6月初旬に、日本家族社会学会のウェブサイトとメルマガを通して事前申し込みのお知らせを行います。メールを利用されない

方で、この件について情報提供を希望される場合は岩井紀子（大阪商業大学JGSS研究センター 06-6785-6013）までご一報ください。詳細が決まったのち、ファックスなどでご連絡します。

横浜での大会には、4月1日の事前登録締め切り時点で、120を超える国と地域から8055人の登録申し込みがあったとのこと。登録は、下記のサイトで引き続き行われています。大会当日、会場でも参加登録することができます。1日だけ参加する費用は12000円です。大会の詳細なプログラムは、5月24日からISAの大会サイトにアップされます。なお、ISA組織委員会では、会場運営に携わるボランティア(半日を1単位として2単位で5000円の謝礼)を募集しているので、学部生や院生などにお声をかけてくださいとのこと。関連ウェブサイトは以下の通りです。

国際社会学会 (ISA) <http://www.isa-sociology.org>

家族研究委員会 (RC06) <http://www.isa-sociology.org/rc06.htm>

第18回ISA世界社会学会議 <http://www.isa-sociology.org/congress2014/>

パシフィコ横浜 <http://www.pacifico.co.jp/index.html>

第18回ISA世界社会学会議の登録申し込み

<https://isaconf.confex.com/isaconf/wc2014/registration/call.cgi>

ISA横浜大会ボランティア募集のお知らせ <http://www.gakkai.ne.jp/jss/2014/03/17123412.php>

(岩井紀子・大阪商業大学)

### **庶務委員会・事務局**

#### 1. 会員の異動および会勢について

会員の異動は、2014年3月8日時点で、新規会員8名、退会13名、会費減額適用者48名。会員数は738名（一般会員578、学生会員111、減額申請適用会員48、賛助会員1）です。

#### 2. 会費納入状況について

3月3日時点での2013年度の会費納入率は88.5%です。今後ともすみやかな会費納入にご協力ください。

#### 3. 会費の減額申請について

常勤職にない会員の方は、会費減額申請を行うことができますが、65歳未満の会員については、毎年申請し承認を受ける必要があります。承認の連絡を受けてから会費をお振り込みください。5月末が申請期限となっておりますので、お急ぎください。申請手続きの詳細は、学会ウェブサイトの「お知らせ/人事公募」>「会費減額申請」([http://www.wdc-jp.com/jsfs/notice/not\\_4.html](http://www.wdc-jp.com/jsfs/notice/not_4.html))に掲載されています。なお、65歳以上の会員の方は、一度承認されれば以後手続きの必要はありません。

#### 4. 学会年会費のクレジットカードによるオンライン決済開始について

第7期理事会で導入が決定していた年会費のクレジットカード決済が開始されました。マイページよりログインすることで利用できます（カード決済が可能な期間は4月より6月末までの3ヶ月間となっております）。所定の手数料は利用者の負担となりますことをご了解ください。また、会費減額申請をされた方がカード決済をされる場合は、承認の連絡を受けてからお手続きください。

## 5. 広報のデジタル化について

本学会のニュースレターは、資料的価値もあり、ウェブサイトでの公開や国会図書館デジタルアーカイブへの情報提供などを進めることを検討しています。このたび、PDF化されていなかった1号から32号のニュースレターのPDF化をほぼ完了しました。今後、公開の範囲などについて検討を進めて参ります。

## 全国家族調査 (NFRJ) 委員会

### 1. NFRJ データの利用

NFRJ のこれまでのデータ (NFRJ98、NFRJ-S01、NFRJ03、NFRJ08等) は、東京大学SSJ データアーカイブを通して公開しています。利用申請方法が変わりましたので、SSJのウェブサイトをご確認ください。学部生の卒業論文や講習会などの教育目的の利用については、引き続きNFRJ委員会事務局が窓口になって学会員に限りデータを提供しています。SSJの申請資格がない会員も、事務局に利用申請することができます。NFRJ の最新情報・連絡先などは、ウェブサイトをご覧ください (<http://nfrj.org/>)。

### 2. 「全国家族調査パネルスタディ (NFRJ-08Panel)」研究会

Wave1～Wave5データによる第一次報告書が完成しました。今後、ウェブサイトにアップする予定です。現在、研究会メンバーで鋭意分析を進めています。来年度には学会内共同利用を、2016年度にはSSJへの寄託を予定しています。

### 3. 国際化に向けた活動

第18回世界社会学会議 (2014-07 横浜) では、NFRJメンバーがRC06/RC33 合同セッション Panel Data Analysis of Families Worldwideと RC06 セッションFamily Studies Based on Quantitative Analyses of Surveysをオーガナイズしています。大会に参加なさる方は、ぜひお立ち寄りください。

### 4. その他の研究会活動

NFRJ08研究会の有志を執筆者とし、NFRJ08を含めたこれまでのNFRJデータを用いた研究書が東京大学出版会から刊行される予定です (編者:稲葉昭英、田中重人、田淵六郎、保田時男)。また、今後、NFRJ18の企画のために研究会を起こしていくことを考えております。学会の多くの会員の方のご参加をお待ちしております。

(永井暁子・日本女子大学)

## 社会学系コンソーシアム評議員

今期理事会では、社会学系コンソーシアム評議員を宮本みち子理事と田淵が担当しております。1月に開催された評議員会において、宮本みち子理事がコンソーシアム理事に選任されました。コンソーシアム関連の情報はニュースレターやメルマガなどで配信して参りますが、ご意見などあればぜひお寄せください。

(田淵六郎)

## 事務局だより

田淵六郎（事務局長・上智大学）

今期（第8期）理事会が発足して半年強が経過しました。伝統ある家族社会学会で事務局長を務めることの重責を感じておりますが、国際化推進などの課題に向けて、善積会長、庶務担当の理事の方々とともに頑張ってお参ります。会員の皆様のご理解とご支援をよろしくお願い申し上げます。学会活動についてのご意見、ご要望などがございましたら、事務局までご連絡ください（田淵：）。

## 会員異動（略）

## 編集後記

この号のニューズレターは、前号の盛りだくさんな内容とうって変わって、理事会・各委員会・大会実行委員会からお知らせを中心とするミニマルな構成となりました。当学会の活動の様子や、今年の大会関連の締め切り期日などの重要情報がコンパクトにまとまっていますので、ぜひ全体に目をお通しください。また、今後の企画記事に関するご提案などありましたら、随時広報担当までご連絡ください（中里：）。

（中里英樹・甲南大学）